

高槻泰郎ゼミ

★研究テーマ：（近世日本を経済学と歴史学を使って分析する）

★開講時限：（金）曜日（4）限

★人数：4回生（0）人 3回生（0）人

★論文：（自由）

テーマ例「近世商家の経営戦略」「近世の情報伝達速度」

★開催形式：対面：オンライン = (9 : 1)

★授業外での交流：（史跡の巡見、史料調査旅行、インゼミ等）

★留学する学生の受け入れ：（可）



授業について（形式・内容・今年変わったところ等）

★形式：グループないし個人での課題研究と発表

★内容：前期は江戸時代の社会構造と歴史資料の読解方法について講義し、後期は教員が提案するテーマの中から課題を見つけてグループないし個人で分析を進め、学期末にその成果を発表してもらいます。

先生ってどんな人？

東京出身。東大で博士号を取得したが修士号は阪大で取得。二児（9歳・7歳）の父。サッカー（神戸サポ）とマンガ（最近では『ふつうの軽音部』）好き。

好きな芸人は麒麟の川島。

先生から一言！

長らく神戸大学の研究所で研究中心の生活をしてきました。初めて学部ゼミを持つことになったので緊張していますが、皆さんと楽しく勉強できたらと思っています。



ゼミのアピールポイント

近世の経済と言えば、米俵と小判が飛び交って、飛脚が書状を担いで走るなどのイメージがあると思いますが、大坂は別世界でした。米は証券と指数の形で取引され、キャッシュレス決済も当たり前、米価は時速720km近い速度で伝達されました。この背景を考えてみませんか？

どんな人が先輩？

新設ゼミなので先輩はいませんが、大学院生が1人いて、皆さん歴史資料を解読するのをアシストしてくれることになっています。

こんな人におススメ！

高校時代に日本史や世界史を選択しているいないにかかわらず、歴史について勉強することが好きな人にオススメです。

ゼミの特徴

初めて設置されるゼミである上、教員は学部生のゼミを持ったことがないで右も左も分かりません。一緒にゼミを作って欲しいです。

ゼミの長所はコレだ！

伝統や慣例が存在しないゼミですので、一緒にゼミを作るという感覚で臨むことができると思います。

ゼミの短所は…

今流行りの技術（生成AI、因果推論、各種コード書き）を身につけることはできないと思います。あと、結構、勉強しないといけないと思います。

自由記入欄（写真、Q&A、一年のスケジュール等、ご自由にお使いください）

ゼミの一年間

イベントの一例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

ゼミ生が感じるゼミの雰囲気パラメーター（該当する位置に●）

最後に一言！

穏やか

元気

理由・説明等

新設ゼミですので、この点の回答はできませんが、Inclusiveなゼミ運営を心がけます。

経済学部に入ったのに、なぜ歴史の勉強をするのだろう、と思う人も多いと思いますが、歴史の勉強をすることには現代的な意義があります。なぜ日本には老舗企業が多いのでしょうか。なぜ日本人は会社や組織への帰属意識が強い傾向にあるのでしょうか。これらには歴史的な経路が影響しています。過去の人々が作り上げて今も残る制度や慣習の中には現代社会では見落とされてしまっている価値観や知恵が含まれているかも知れません。それを皆さんと一緒に探っていきたいです。